

令和3年度 印西市民アカデミーだより 第6号

印西の歴史散策5（船穂/武西・戸神）

7月9日（金）、第5回目の歴史散策は、旧船穂村の武西・戸神地区を散策しました。今回は、初めての千葉ニュータウン地区の散策となります。千葉ニュータウン中央駅の南側半径約1km圏内を散策しました。コースは、中央駅前交流館→→→武西百庚申→→→鳴神山遺跡→→→戸神宗像神社→→→北総花の丘公園（野鳥観察舎）→→→中央駅前交流館（約5km）です。蒸し暑い梅雨空の下、時おり降るミストシャワーのような雨が心地よく感じられました。

武西百庚申塚



武西の百庚申塚は、文久3年（1863年）に建てられたもので、「庚申」の文字塔9基と青面金剛像1基の並びが10ずつ、計百基が一行に並んでいます。現在は、武西学園台南街区公園に整備・保存されています。

鳴神山遺跡



畑の下には、奈良～平安時代前半期にあたる竪穴式住居206棟と掘立柱建物跡43棟が見つかりました。千葉ニュータウン内で最大級の遺跡です。

戸神宗像神社



印旛沼北岸には、宗像三女神を祭神とする宗像神社13社が配祀されています。同一年代に鎮座されたものと考えられ、当神社は9世紀後半に創建されたものと推定されます。本殿壁面の新田義貞をモデルにした浮彫りは一見の価値があります。本殿裏の「根性の木」も珍百景

野鳥観察舎



北総花の丘公園Cゾーンにある野鳥観察舎からは、戸神川防災調整池に生息するサギやカワウ等の野鳥を観察することができます。